

おおやまだしょうがっこう
大山田小学校だより

かせ

そうぞの風

【URL】<http://www.iga.ed.jp/oyamada-e/>

2023.12.22発行

だいごう
第16号

こうちょうしつ
校長室より

2学期終業式を行いました！

ここ2週間ほど、インフルエンザによる学級・学年閉鎖があり、保護者のみなさまには大変ご心配をおかけしました。まだ安心できない状況ではありますので、冬季休業中も引き続き感染対策をお願いしたいと思います。

さて、本日無事に2学期の終業式を迎えることができました。

授業では、話をしっかり聴くことを大事にし、友だちの意見につなげて自分の考えを伝え合うことに取り組んできました。また、さまざまな方との出会いがあり、自分を振り返る、友だちのことやクラスのことを見つめる機会となりました。大山田小フェスティバルでは、個々のめあてや学年の目標に向かって、練習の時から精一杯がんばりました。当日は、保護者の方に参観いただき、子どもたちの励みになりました。保護者の皆様には、フェスティバルの感想もご提出いただき、ありがとうございました。

日々の教科の学習や人権学習での出会い、社会見学や修学旅行などの体験・聴き取り学習等を通して、子どもたちはさまざまなことを考え、話し合い、大きく成長しました。(一部を学校ホームページに掲載しています。) 子どもたちをいつも見守り、支えてくださっている保護者や地域のみなさまには、感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

3学期のスタートは1月9日(火)です。子どもたちと元気に再会できることを楽しみにしています。

1月の行事予定

このか 9日(火)	がっきしぎょうしき 3学期始業式	いっせいげこう 11:30一斉下校
とおか 10日(水)	きゅうしょくかいし はついくそくてい 給食開始、発育測定	いっせいげこう 13:30一斉下校
にち 11日(木)	はついくそくてい 発育測定	いっせいげこう 13:30一斉下校
にち 12日(金)	はついくそくてい 発育測定	いっせいげこう 13:30一斉下校
にち 15日(月)	へいじょうじぎょうかいし 平常授業開始	

きらきらさんによる読み聞かせ、委員会



3学期の主な予定

がっき 2月16日(金)	じぎょうさんかん がっきゅうこんだんかい 授業参観・学級懇談会
がっき 3月18日(月)	そつぎょうしょうしょじぎょうしき 卒業証書授与式
にち 21日(木)	きゅうしょくしゅうりょう 給食終了
にち 22日(金)	しゅうりょうしき りにんしき 修了式、離任式

エニィ ^{かいさい} ^{じどうせいとはっしん} ^{じんけんそんちょう} ^{ちいき} ANYフォーラム開催 児童生徒発信「人権尊重の地域づくり」

「集まろう、語ろう、つながろう」—住みよい大山田にするために—

このフォーラムは、^{さくねんど} 昨年度から大山田中学校区で進めてきたANYネットワーク活動^{かつどう}の1つであり、今年2年目の取組です。今年、12月13日（水）に小学6年生、中学生、地域の方、^{ほごしゅ} 保護者の代表^{だいひょう}の方が集まり、ANYフォーラムを行いました。開会行事のあとおおやまだ反差別^{はんさべつ} 村民ネットワークの代表^{だいひょう}である芝田喜比古先生に講演いただきました。

芝田先生からは、「^{がくしゅう} 学習とは何か。名前を知っているだけではいけない。中身を知ることが大事。中身を知らないと好きになれない。」「1回学習したことはなかなか抜けない。だからはじめに正しく知ること。」「40年前の大山田には、生まれや性別など個人の力ではどうしようもないことと判断される風潮があった。何か起こってもおかしくない状況の中で、部落問題にかかわる差別発言があった。何とかしなければという思いと、そのことをこれまで放っておいた自分の責任でもあると感じ、他の町の取組を学びに行った。事象が起こったことは不幸かもしれないが、同じ思いを持った人たちが集まって急速に活動がまり現在につながっている」と教わりました。

また、人権学習をする中学生がぶち当たる壁が2つある。1つ目の壁は、学校で学んだことと家の人の考えに差があること。2つ目の壁は、中学を卒業してから人権について学ぶ場がないことです。思っていること、悩んでいることを話することはとても大事なことです。自分の考えを持たないとまわりに流されてしまう。そんな自分は好きになれない。また、考えはいろんな形で表現できる。大山田反差別村民ネットワークはいろんな年代の人たちが集まって話ができる場であるなど、ご自身の経験をもとにお話いただきました。

その後、分散会や全体会の中で、児童生徒が講演を聞いた感想や住みよい大山田にするために自分が考えたことを伝え合いました。「人権学習後、自分の中にそれ以上学ぼうという気持ちがなかったことに気づいた。芝田さんの中身まで知らないときになれないという話^{はなし}が自分と重なった。」「これまで雰囲気^{ふんいき}に流されて自分の発言ができていなかった。自分の考えを持たないと、相手の意見だけが大事^{だいじ}って思ってしまう。クラスをあたたかい雰囲気^{ふんいき}にしていきたい。」「地域をよりよくするってどういうことなのかを考えた。気を使わずに自由に、誰もが受け入れられることかなと思う。」などの意見^{いけん}が出ました。すみよい大山田にするには、日常の中にある気づきを見逃さないこと、自分の考えを、持ちまわりの人に伝えていくこと・受け止めること、学習したことを応用し一歩踏み出すことが大事であると学びました。



